

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1276450
園名	江東めぐみ幼稚園

## 1.活動のテーマ

<テーマ>

音と光

<テーマの設定理由>

保育の中で子供達が音楽に対して興味を持ち楽しそうに反応していたこと、またセロハンを光にかざして遊ぶことに興味関心をもっている姿が見られたため、「音と光」をテーマに設定しました。日当たりのよい園庭の特徴を活かし、日常の音や光、自然の音や光、手作り楽器の音に興味を持ち、五感を使って楽しく取り組める活動を行いました。センサリープレイ、光と影あそび等を通して、子どもたちの好奇心を引き出し、音や光の不思議さや美しさを体験し、豊かな感性や表現力を育みました。

## 2.活動スケジュール

6月 ①水あそび

タライやプールに水を張り、玩具などで水あそびをしながら、水の音を聞いたり、水の光具合を観察しました。

9月・11月 ②雨の音を聞く・音探し・光探し

雨の日に、タライを地面に置き、子ども達は缶を持って、庇の下に落ちてくる雨の音を聞いて楽しみました。晴れている日には、日影と日なたの違いを感じてみたり、みんなで手をつないで輪になり、影あそびしました。

9月 ③センサリープレイ

シェービングフォームにホウ砂と洗濯のりを入れて、スライム作りをしました。触ったときの温度、感触、音に注目して楽しみました。また、色水ジュースを入れた容器にクエン酸・重曹を入れて振り、しゅわしゅわと音がすることを体験しました。

10月 ④色水あそび

色付けした水をカップ入れ、他の色の水を混ぜることで色の変化を楽しみました。色水を太陽の光にあてると水を通して反射する影にも色が付く様子を観察し、色水と光への関心を高めました。

10月 ⑤フィンガーペインティング

絵の具を手で触ったり混ぜたりして、大きな紙や窓に自由に描き、自分だけのアートを楽しみました。素手で描くときの音や窓に描くときの影にも注目して活動しました。

11月 ⑥光と影あそび

牛乳パックランタンを作りペンライトで照らしました。1人で照らす場合と複数で照らす場合の違いを体験しました。また別の日にカラーセロハンを貼った紙を地面や紙に映して見え方の違いを楽しみました。

12月 ⑦ゼラチンあそび

タッパーに入れたゼラチンを手や指を使って自由に触って、感触や色の変化を楽しみました。太陽に光に照らしたときの様子や、ミニプラボトルに入れて振ったときの音にも注目しました。

1月 ⑧手作り楽器づくり

ミニプラボトルの中にいろいろな大きさのビーズを入れて楽器を作りました。ビーズの量を多くしたり少なくしたりして音の大きさの違いを体験すると共に、リズムに合わせて音を鳴らし表現力も養いました。

3. 探究活動の実践 <活動の内容>

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プール、タライ、缶、玩具、ジョウロ、ホース、シェービングフォーム、ホウ砂、洗濯のり、クエン酸、重曹、食紅、ボウル、スプーン、ラメ、ミニプラボトル、絵の具、プリンカップ、おたま、ポンプ付きボトル、ゼラチン湖、タッパー、アイロンビーズ

【環境設定】

外での活動をする際は庇の屋根を出して有効活用しました。室内での活動ではブルーシートを敷いたり、机の上にビニールシートを準備しました。

・活動内容と活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

①水あそびでは、様々な容器で水あそびをしながら「どんな音がする？」と声をかけたことで、自発的に聞こえた音を「ピチャピチャ」「ジョー」「ジャー」などと自発的に口にするようになりました。プールの水面に反射した光に気づき、興味をもった子どももいました。

②雨の音を聞く活動では、缶やタライに落ちる雨の音を、缶では「ポタン、ポタン」「ポタポタ」、タライでは「ポタン、ポタン」など落ちた場所で違った表現をするなど、水音への関心が高まりました。晴れの日は、日影と日なたでの温度の違いを感じたり、影あそびでは自分の影に気づき、いろいろなポーズを楽しむ姿が見られました。

③センサープレイでは、泡に触るのが苦手な子が泡がだんだんと固まっていって触ることができるようになりました。スライム作りでは友達と協力してスライムをこねたり、ラメを混ぜたりしました。こねながら「ぐにゃぐにゃって音がする」などの声が聞こえたり、感触や温度を楽しみました。

④色水あそびでは、単色で遊ぶ子が多かったため、目の前で色を少しずつ混ぜてみると変化に気づき、子ども達も自ら色を混ぜるようになりました。カップに入った色水を太陽の光にあてると、水を通して反射する影に色がついたり、水の中がキラキラと光る様子に気づき、不思議そうに水の中に手を入れたり、手の上に色の影を映す姿が見られました。

⑤フィンガーペインティングでは、おそるおそる指先で色を取って絵を描いていましたが、慣れてくると手のひらで絵の具を塗り広げる感触が楽しくなり、だんだんとダイナミックになっていきました。異なる色の絵の具を混ぜ合わせて色が変わる様子にはワクワクした表情を見せてくれました。

⑥光と影あそびでは、牛乳パックランタンとカラーセロハンを使い映し出される光を楽しみました。ペンライトで牛乳パックランタンを下から照らして「どんな風に見える？」と問いかけると「キラキラしてる～」という声が聞こえました。カラーセロハンを貼った紙をかざして地面や紙に映してみると「きれい！」という声が多く聞こえ、友達のカラーセロハンと重ねてみる姿も見られました。

⑦ゼラチンあそびでは、ゼラチンに触った子ども達からは「冷たい」「ふるふる」「気持ちいい～」などの声が聞こえ、触り慣れてくると夢中で握ったり崩したりと主体的に遊ぶ姿が見られました。ミニプラボトルに入れたゼラチンを光にあてると、「きれい」「すけてるー！」「混ぜてるー」などの発見がありました。

⑧手作り楽器づくりでは、きれいな色のアイロンビーズに興味津々の子ども達。ミニプラボトルにビーズを入れるのに苦戦する子もいましたが、容器に入った量がそれぞれ違うことで、出る音の大きさが変わること気づくことができました。大きさの違うビーズが入った容器も用意して振ってみると、「カチカチ」「シャカシャカ」「カラカラ」「キチキチ」など子どもならではの音の表現ができました。







#### 4. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

水、光と影、音、色などに触れる遊びを通して、子ども達の音と光に対する興味や気づきが深まったように思います。音を意識的に聞くことを重ねる中で、音を認識しながら興味を広げていきました。活動の中で音の変化にも関心を持ち、水が溜まると音が変わること疑問を持つなど、探究心も育っていきました。また、光の反射や色の混ざり方などにも関心を示し、自ら試そうとする意欲が見られました。センサリープレイやゼラチン、絵の具などを使った感触遊びでは、「しゅわしゅわ」「ぐにやぐにや」など感じたことを言葉や音で表現し、友達や保育者と共有する姿がたくさん見られました。ビーズを使った手作り楽器づくりでは、自分たちで音に合わせてリズムを作る楽しさを知り、音楽が流れると自分達で好きなように鳴らす様子がみられ表現力が身につく良い活動となりました。